

医療救護所における
医療救護班等活動マニュアル
(資料編)

平成 31 年 3 月発行

(令和 7 年 3 月更新)

練馬区災害医療運営連絡会

目次

資料編

- 1 連絡先一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 医療救護所の運営様式（様式1～10）・・・・・・・・・・ 4
- 3 備蓄医療資器材等一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
- 4 備蓄医薬品一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
- 5 医療救護所アクションカード・・・・・・・・・・・・・・ 28

資料編

1 連絡先一覧

(1) 区・四師会

区分	名称	所在地	電話番号	無線番号
区	災害対策本部	区役所本庁舎 7 階	-	ねりま 100
	災害対策健康部	区役所東庁舎 6 階	5984-4673	ねりま 712
四師会 本部	医師会	高野台 2-23-20	3997-7500	ねりま 861
	歯科医師会	豊玉北 6-5-13	3557-0045	ねりま 353
	練馬つつじ歯科休日急患診療所	区役所東庁舎 3 階	3993-9956	
	薬剤師会	富士見台 3-56-3	5848-4450	ねりま 354
	柔道整復師会 (町田接骨院)	桜台 3-14-14	3991-2475	ねりま 351

(2) 災害時医療機関 (24 医療機関)

区分	No.	名称	所在地	電話番号	無線番号
災害 拠点病院	1	順天堂練馬病院	高野台 3-1-10	5923-3111	ねりま 851
	2	練馬光が丘病院	光が丘 2-5-1	3979-3611	ねりま 871
災害拠点 連携 医療機関	1	練馬総合病院	旭丘 1-24-1	5988-2200	ねりま 872
	2	浩生会スズキ病院	栄町 7-1	3557-2001	ねりま 873
	3	大泉生協病院	東大泉 6-3-3	5387-3111	ねりま 874
	4	川満外科	東大泉 6-34-46	3922-2912	ねりま 875
	5	田中脳神経外科病院	関町南 3-9-23	3920-6263	ねりま 876
	6	辻内科循環器科歯科クリニック	大泉学園町 8-24-25	3924-2017	ねりま 407
災害医療 支援 医療機関	1	島村記念病院	関町北 2-4-1	3928-0071	-
	2	東大泉病院	東大泉 7-36-10	3924-5820	-
	3	関町病院	関町北 1-6-19	3920-0532	-
	4	練馬さくら病院	北町 3-7-19	3931-1101	-
	5	慈雲堂病院	関町南 4-14-53	3928-6511	-
	6	陽和病院	大泉町 2-17-1	3923-0221	-
	7	豊島園大腸肛門科	春日町 4-6-14	3998-3666	-
	8	阿部クリニック	桜台 2-1-7	3992-1103	-
	9	練馬駅リハビリテーション病院	練馬 1-17-1	3557-2611	-
	10	ねりま健育会病院	大泉学園町 7-3-28	5935-6102	-
	11	桜台病院	豊玉南 1-20-15	3993-7631	-
	12	練馬高野台病院	高野台 3-8-8	3904-5300	-
	13	練馬志匠会病院	土支田 1-13-20	6913-3605	-
専門医療 拠点病院	1	東海病院 (透析)	中村北 2-10-11	3999-1131	-
	2	久保田産婦人科病院 (産科)	東大泉 3-29-10	3922-0262	-
	3	大泉病院 (精神)	大泉学園町 6-9-1	3924-2111	-

(3) 透析医療機関 (11 医療機関)

No.	名称	所在地	電話番号
1	高松医院	高松 6-4-23	3997-1171
2	練馬中央診療所	豊玉北 5-32-8	3991-9655
3	腎クリニック高野台	高野台 1-3-7	5910-3121
4	練馬桜台クリニック	豊玉北 4-11-9	5999-0723
5	優人クリニック	田柄 2-52-10	5383-6760
6	練馬高野台クリニック	高野台 1-8-15	5372-6151
7	優人大泉学園クリニック	東大泉 1-28-7	3867-5510
8	大泉学園クリニック	東大泉 5-40-24	5947-5681
9	武蔵野総合クリニック練馬	練馬 1-26-1	3993-7015
10	優人上石神井クリニック	上石神井 1-13-13	5903-3630
11	石神井公園じんクリニック	石神井町 7-2-5	3995-0725

(4) 医薬品卸売販売業者 (7 事業者)

No.	名称	所在地	電話番号
1	アルフレッサ(株) 練馬支店	杉並区井草 3-20-5	3301-6011
2	(株)スズケン 練馬支店	高野台 2-3-17	5923-0861
3	東邦薬品(株) 練馬・板橋営業所	谷原 1-9-3	3997-3211
4	(株)メディセオ 板橋・練馬支店	向山 1-11-13	5987-0861
5	酒井薬品(株) 中野営業所	中野区鷺宮 3-47-1	3337-8021
6	(株)バイタルネット 東京中央支店	板橋区泉町 40-1	5916-1800
7	(株)マルタケ 東京支店	豊島区南大塚 1-2-7	5976-3200

(5) その他の連絡先

No.	名称	所在地	電話番号	FAX 番号	無線番号
1	防災センター	本庁舎 7 階			ねりま 1 0 0
2	健康推進課 (庶務班)	東庁舎 6 階	5984-2482	5984-1211	
3	保健予防課 (予防班)	東庁舎 7 階	5984-1017	5984-1211	ねりま 7 1 1
4	地域医療課 (救護班)	東庁舎 6 階	5984-4673	5984-1211	ねりま 7 1 2
5	豊玉保健相談所	豊玉北 5-15-19	3992-1188	3992-1187	ねりま 5 0 1
6	北保健相談所	北町 6-35-7	3931-1347	3931-0851	ねりま 5 0 2
7	光が丘保健相談所	光が丘 2-9-6	5997-7722	5997-7719	ねりま 309#2
8	石神井保健相談所	石神井町 7-3-28	3996-0634	3996-0590	ねりま 5 0 3
9	大泉保健相談所	大泉学園町 5-8-8	3921-0217	3921-0106	ねりま 5 0 4
10	関保健相談所	関町東 1-27-4	3929-5381	3929-0787	ねりま 5 0 5
11	中村南スポーツ交流センター	中村南 1-2-32	3970-9651	3970-9653	
12	平和台体育館	平和台 2-12-5	5920-3411		
13	上石神井体育館	上石神井 1-32-37	5991-6601	5991-6604	
14	大泉学園体育館	大泉学園町 5-14-24	5905-1161	5905-1166	
15	桜台体育館	桜台 3-28-1	3992-9612	3992-9612	
16	練馬消防署	豊玉北 5-1-8	3994-0119	3994-0480	ねりま 8 0 1
17	光が丘消防署	光が丘 2-9-1	5997-0119	5998-2404	ねりま 8 0 2
18	石神井消防署	下石神井 5-16-8	3995-0119	3995-2168	ねりま 8 0 3
19	練馬警察署	豊玉北 5-2-7	3994-0110		ねりま 8 1 1
20	光が丘警察署	光が丘 2-9-8	5998-0110		ねりま 8 1 2
21	石神井警察署	石神井町 6-17-26	3904-0110	3904-0850	ねりま 8 1 3

※No.11～15 は災害時の用途が遺体安置所となっている施設

避難拠点要員 参集簿

_____ 医療救護所

	氏名	所属	参集時間	特記事項
1			:	
2			:	
3			:	
4			:	
5			:	
6			:	
7			:	
8			:	
9			:	
10			:	

_____ 班 (_____ 会) 参集簿

_____ 医療救護所

	氏名	診療所名等	参集時間	特記事項
1			:	
2			:	
3			:	
4			:	
5			:	
6			:	
7			:	
8			:	
9			:	
10			:	

医療救護所医療従事スタッフ（登録看護師） 参集簿

_____ 医療救護所

	氏名	医療スタッフカード登録番号	参集時間	特記事項
1			：	
2			：	
3			：	
4			：	
5			：	
6			：	
7			：	
8			：	
9			：	
10			：	

被害状況等報告書

練馬区災害対策健康部あて

報告日時	年 月 日 時 分
医療救護所名	_____ 学校医療救護所
報告者氏名	

1 建物の被害状況

施設の状況	倒壊 ・ 一部倒壊 ・ 被害なし
医療救護所の使用可否	可 ・ 不可
医療救護所の開設	済 ・ 未済
使用できるライフライン	電気 ・ 水道 ・ その他 ()
使用可能な情報設備	電話 ・ 防災無線 ・ 電子メール (PC) LINE WORKS (iPad) ・ その他 ()

2 参集状況

避難拠点 要員	左記のうち 保健師	学校 要員	運営 連絡会	医療 救護班	歯科医療 救護班	薬剤師班	柔道 整復師班	登録 看護師
人	人	人	人	人	人	人	人	人

3 人的被害 (_____ 時現在の傷病者の状況)

(1) トリアージの実施状況

済	未済	計
人	人	人

(2) トリアージ実施済者の内訳

死亡 (黒)	重症 (赤)	中等症 (黄)	軽症 (緑)
人	人	人	人

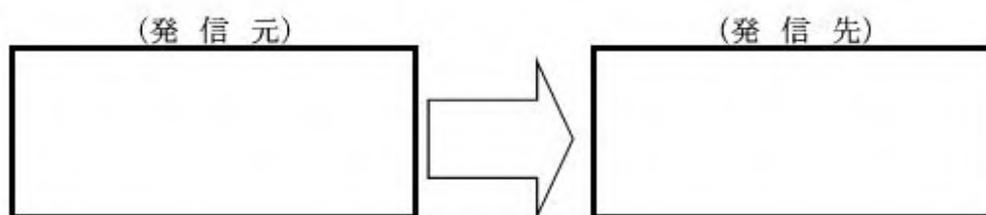
4 不足物資・応援等の要望

--

5 その他報告事項 (備考欄)

--

通信記録票



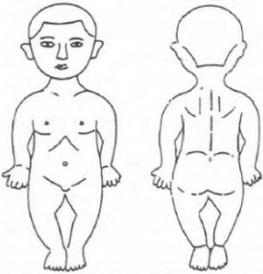
発信日時	年 月 日 午前・午後 時 分	
通信方法	・電話 →災害伝言ダイヤル ・電子メール ・FAX ・防災無線 ・iPad	
	その他	
記録作成者	所属	
	氏名	
要望		
課題		
意見・報告		

災害診療記録2018

1頁/4頁

* は必須記録項目

* 初診日	西暦	年	月	日
* 初診医師氏名				
* 患者氏名(カタカナ)	最初の7文字をメディカルIDに転記			
(漢字等)	氏名不詳なら個人特定に役立つ情報(救出された場所や状況等)を記載 性別: 男・女			
* 生年月日・年齢	西暦・明治・大正・昭和・平成	年	月	日 () 歳
保険証情報	保険者番号:	記号:	番号:	
[携帯]電話番号				
* 住所	自宅: 〒	状態: <input type="checkbox"/> 健存 <input type="checkbox"/> 半壊 <input type="checkbox"/> 全壊		
	<input type="checkbox"/> 避難先1: <input type="checkbox"/> 避難所名() <input type="checkbox"/> 知人宅 <input type="checkbox"/> テント <input type="checkbox"/> 車内 <input type="checkbox"/> その他			
	<input type="checkbox"/> 避難先2: <input type="checkbox"/> 避難所名() <input type="checkbox"/> 知人宅 <input type="checkbox"/> テント <input type="checkbox"/> 車内 <input type="checkbox"/> その他			
連絡先	<input type="checkbox"/> 家族・ <input type="checkbox"/> 知人・ <input type="checkbox"/> その他・ <input type="checkbox"/> 連絡先なし			
職業				
【禁忌事項等】				
<input type="checkbox"/> アレルギー				
<input type="checkbox"/> 禁忌食物				
【特記事項(常用薬等)】				
<input type="checkbox"/> 抗血小板薬()				
<input type="checkbox"/> 抗凝固薬 <input type="checkbox"/> ワーファリン()				
<input type="checkbox"/> 糖尿病治療薬 <input type="checkbox"/> インスリン <input type="checkbox"/> 経口薬 ()				
<input type="checkbox"/> ステロイド()				
<input type="checkbox"/> 抗てんかん薬()				
<input type="checkbox"/> その他()				
<input type="checkbox"/> 透析				
<input type="checkbox"/> 在宅酸素療法(HOT)				
<input type="checkbox"/> 災害時要配慮者: <input type="checkbox"/> 高齢者 <input type="checkbox"/> 障害者 <input type="checkbox"/> 乳幼児 <input type="checkbox"/> 妊婦 <input type="checkbox"/> 日本語が不自由 <input type="checkbox"/> その他()				
【要保護者】 <input type="checkbox"/> 支援者のいない要配慮者等 該当状況: <input type="checkbox"/> 身体的/ <input type="checkbox"/> 精神的/ <input type="checkbox"/> 社会的/ <input type="checkbox"/> その他()				
* 傷病名	* 開始	診察場所		* 所属・医師サイン
	年 月 日			
メディカルID=西暦生年月日8桁+性別+氏名カタカナ上位7桁 例) 1950年09月08日生まれ 男性 トヨトミヒデヨシ⇒ 19500908Mトヨトミヒデヨ				
トリアージタグ	<input type="checkbox"/> 赤 <input type="checkbox"/> 黄 <input type="checkbox"/> 緑 <input type="checkbox"/> 黒 番号:			
メディカルID				
			M F	

患者氏名 (カタカナ)	* 氏名不詳なら個人特定に役立つ状況情報を記載	初診医師氏名												
一般診療版 J-SPEED2018 当てはまるもの全てに☑														
Demographics	初診日	西暦	年	月	日	バイタルサイン	意識障害: <input type="checkbox"/> 無・ <input type="checkbox"/> 有	呼吸数: / min						
	年齢	歳					再診 日付 /	再診	血压: / mmHg	体温: °C				
Health Events	性別	<input type="checkbox"/> 0 歳, <input type="checkbox"/> 1-14 歳, <input type="checkbox"/> 15-64 歳, <input type="checkbox"/> 65 歳-				再診	再診	脈拍: / min 整・不整						
	性別受診区分	1 <input type="checkbox"/> 男性 2 <input type="checkbox"/> 女性(妊娠なし) 3 <input type="checkbox"/> 女性(妊娠あり) 4 <input type="checkbox"/> 中等症(トリアージ黄色)以上 5 <input checked="" type="checkbox"/> 再診患者				再診	再診	身長・体重 身長: cm 体重: / kg						
Procedure & Outcome	既往症					再診	再診	<input type="checkbox"/> 高血圧 <input type="checkbox"/> 糖尿病 <input type="checkbox"/> 喘息 <input type="checkbox"/> その他						
	予防接種					再診	再診	<input type="checkbox"/> 麻疹 <input type="checkbox"/> 破傷風 <input type="checkbox"/> 今期インフルエンザ <input type="checkbox"/> 肺炎球菌 <input type="checkbox"/> 風疹 <input type="checkbox"/> その他()						
Context	主訴					再診	再診							
	現病歴 (日本語で記載)					再診	再診					<input type="checkbox"/> 外傷⇒黄色タグ以上は外傷版記録へ(J-SPEED は記入) <input type="checkbox"/> 精神保健医療⇒精神保健医療版記録へ(J-SPEED は記入)		
Context	診断					再診	再診							
	処置					再診	再診					<input type="checkbox"/> 無・ <input type="checkbox"/> 有		
Context	処方					再診	再診							
	転帰					再診	再診					<input type="checkbox"/> 帰宅 <input type="checkbox"/> 搬送 → 搬送手段 搬送機関 搬送先 <input type="checkbox"/> 紹介 → 紹介先 <input type="checkbox"/> 死亡 → 場所 時刻 確認者		
Context	対応者署名 (判読できる文字で記載)					再診	再診	所属(チーム名等) 医師 看護師 薬剤師 業務調整員 その他 データ入力						
	その他					再診	再診							
＜メモ＞														
						*追加症候群は保健医療調整本部等からの指示に応じて集計								
						メディカル ID = 西暦生年月日 8 桁 + 性別 + 氏名カタカナ上位 7 桁								
メディカル ID						M F								

患者氏名 (カタカナ)	* 氏名不詳なら個人特定に役立つ状況情報を記載	医師氏名	* 本ページを最初に利用した医師氏名
----------------	-------------------------	------	--------------------

年号	西暦
明治40年	1907
45年	1912
大正元年	1912
5年	1916
10年	1921
15年	1926
昭和元年	1926
5年	1930
10年	1935
15年	1940
20年	1945
25年	1950
30年	1955
35年	1960
40年	1965
45年	1970
50年	1975
55年	1980
60年	1985
64年	1989
平成元年	1989
5年	1993
10年	1998
15年	2003
20年	2008
25年	2013
31年	2019
新年号元年	2019

日時	所見	J-SPEED 該当コード(4 度 目受診以降)	処置・処方	・診療場所 ・所属 ・医師等サイン
----	----	--------------------------	-------	-------------------------

メディカル ID = 西暦生年月日 8 桁 + 性別 + 氏名カタカナ上位 7 桁

メディカル ID																					
										M / F											

災害診療記録2018 外傷版（緊急処置と外傷評価）（裏）

改訂日：2018/10/31

項目は、および必要記入項目です。

A 気道の異常
口腔内吸引 エアウェイ
気管挿管（挿管チューブ 内径 mm cm固定 カフ ml）
輪状甲状靭帯切開（気切チューブ 内径 mm カフ ml）

B・Cの異常
酸素投与（ L/分）
胸腔ドレナージ（右 左 両側 サイズ Fr 吸引圧 cmH2O）
気管挿管（挿管チューブ 内径 mm cm固定 カフ ml）
人工呼吸（F_iO₂ TV ml 換気回数 回/分 PEEP cmH2O）

Cの異常
圧迫止血 細胞外液輸液 心電図モニター
心嚢穿刺・切開ドレナージ 胸部X線撮影 骨盤X線撮影
骨盤シーツラッピング TAE 外科的治療 四肢の循環障害

Dの異常
酸素投与（ L/分）
気管挿管（挿管チューブ 内径 mm cm固定 カフ ml）
頭部CT検査

その他の処置
末梢ルート①（ G 右 左 上肢 下肢） ②（ G 右 左 上肢 下肢）
NG チューブ（ Fr cm固定） 尿道バルーンカテーテル Fr
動脈ライン（右 左 上肢 下肢） 末梢血検査 血液ガス分析
創傷処置（ ）
投与薬物（ ）

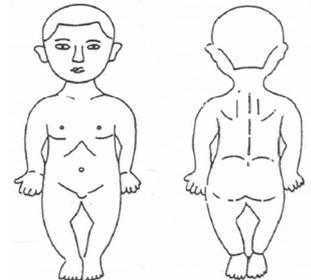
受傷機転

傷病分類 頭頸部（頭部外傷 頸部外傷 頸椎・頸髄損傷）
顔面（骨折 眼損傷 耳損傷 鼻出血 口腔損傷）
胸部（フレイルチェスト 肋骨骨折（多発） 血胸 気胸）
腹部（腹腔内出血 腹膜炎（腹部反跳痛 筋性防御） 腎・尿路損傷（肉眼的血尿））
四肢と骨盤（両側大腿骨骨折 開放性骨折 脱臼 切断 骨盤骨折（不安定型））
体表（剥皮創 穿通創 挫創 熱傷（Ⅱ度 Ⅲ度 面積 % 気道熱傷有）
圧挫症候群 胸・腰椎（髄）損傷 低体温 汚染（化学物質 放射線）
その他の傷病名（身体所見）（ ）

必要な治療・処置

外科的治療（緊急手術を要す、待機的手術を要す） 輸血 動脈塞栓術（TAE）
創外固定 直達牽引 創傷処置 除染（化学物質 放射性物質）
破傷風トキシイド 抗破傷風免疫グロブリン
その他（ ）

診断、特記事項等（自由記載）



メディカルID＝西暦生年月日8桁＋性別＋氏名カタカナ上位7桁 例）1950年09月08日生まれ 男性 トヨトミヒデヨシ⇒ 19500908MTヨトミヒデヨ

メディカルID										M					
										E					

※この災害用処方せんは医療救護所内の調剤所用です。

災害用処方せん

医療救護所の名称

所属する医療機関名称

処方医師氏名

患者	氏名				男・女
	明・大・昭・平・令 年 月 日生				
交付年月日		年 月 日			
処方					
備考	投与日数 / 1日 ・ 2日 ・ 3日 ・ 4日 /				
調剤済年月日	年 月 日			調剤した薬剤師氏名	
薬剤師の所属する組織の名称または連絡先					

学校 医療救護所 軽症者一覧

様式8

No.	氏名	年齢	性別	住所	電話	応急手当			収容医療機関名	症状・傷病名	特記事項		
						実施日時	実施氏名	区分変更					
								Ⅰ(黒)				Ⅱ(赤)	Ⅲ(黄)
			男・女										
			男・女										
			男・女										
			男・女										
			男・女										
			男・女										
			男・女										
			男・女										
			男・女										
			男・女										
			男・女										
			男・女										
			男・女										
			男・女										
			男・女										
			男・女										
			男・女										
			男・女										
			男・女										

学校 医療救護所 重症者・中等症者一覧

様式9

No.	氏名	年齢	性別	住所	電話	トリアージ実施							収容医療機関名	症状・傷病名	特記事項		
						実施日時	実施氏名	区分変更				実施機関					
								Ⅰ(黒)	Ⅱ(赤)	Ⅲ(黄)	Ⅳ(緑)	医師				救急救命士	その他
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														

搬送者カード

- ① 医師の診断が終わったら、タグの情報をカードに記入します。
- ② 患者が待機しているベッドにセロハンテープで張り付け、診察済みであることを周知します。
- ③ 患者が搬送されたら、このカードを記録場所医療救護所本部(記録担当)に渡します。

1 トリアージタグのNO _____

2 氏名 _____

3 性別 男 ・ 女 _____

4 年齢 才 _____

5 搬送先医療機関名 _____

※ 搬送先が決まったら記入します。

6 搬送済かどうか 済 _____

※ 医療機関へこの患者が搬送された場合は
「済」に○を付け、記録場所医療救護所本部(記録担当)
に渡します。

7 この票の記入者氏名等記入欄

所属: _____

氏名: _____

3 備蓄医療資器材等一覧 (医療救護所1か所あたり)

No.	区分	品名	規格/仕様	単位	数量	保管先
1	診断用具	聴診器	ケース付き	個	4	1号
2		デジタル血圧計	単四2個用 手首式	個	2	1号
3		デジタル血圧計	単三4個用 上腕式	個	2	1号
4		パルスオキシメーター	単四2個用	個	1	1号
5		打診器	米式	個	4	1号
6		バイトスティック	舌圧子兼開口器	個	7	1号
7		体温計	ボタン電池 LR41 1個用	個	4	1号
8		ペンライト	携帯用	個	4	1号
9		メジャー	2m (ROTARY)	個	4	1号
10	蘇生用具	酸素ボンベ	500L アルミ容器	本	3	その他
11		減圧弁	流量計付	組	3	その他
12		フェイスマスク	成人用	個	3	2号
13		フェイスマスク	小児用	個	3	2号
14		アンビューバッグ	成人用 チューブ・マスク付	組	3	その他
15		アンビューバッグ	小児用 チューブ・マスク付	組	1	その他
16		人工呼吸用マウスシート		個	4	2号
17		蘇生チューブ	口対口	個	3	2号
18		経口エアウェイ	大	個	3	2号
19		経口エアウェイ	中	個	3	2号
20		経口エアウェイ	小	個	3	2号
21		経鼻エアウェイ	6mm	本	3	2号
22		経鼻エアウェイ	7mm	本	3	2号
23		経鼻エアウェイ	8mm	本	3	2号
24	吸引用具	吸引器	足踏式	個	1	1号
25		吸引器	手動式	個	3	1号
26		サクションカテーテル	12Fr	本	3	1号
27		サクションカテーテル	14Fr	本	3	1号
28		サクションカテーテル	18Fr	本	3	1号
29		〃 コネクター	3m/m	個	2	1号
30		〃 コネクター	5m/m	個	2	1号
31		ネラトンカテーテル	8Fr	本	5	1号
32		ネラトンカテーテル	12Fr	本	5	1号
33		ネラトンカテーテル	16Fr	本	5	1号
34		バルーンカテーテル	8Fr	本	1	1号
35		バルーンカテーテル	18Fr	本	1	1号
36		バルーンカテーテル	20Fr	本	1	1号

No.	区分	品名	規格/仕様	単位	数量	保管先
37	気管挿管用具	喉頭鏡	成人用 単二 2 個用	組	2	2 号
38		喉頭鏡	小児用 単二 2 個用	組	1	2 号
39		気管内チューブ	カフ付 7mm	本	2	2 号
40		気管内チューブ	カフ付 8mm	本	2	2 号
41		気管内チューブ	カフ付 9mm	本	2	2 号
42		気管内チューブ	カフ無 4mm	本	1	2 号
43		気管内チューブ	カフ無 5mm	本	1	2 号
44		気管内チューブ	カフ無 6mm	本	1	2 号
45		スタイレット	10Fr	本	1	2 号
46		スタイレット	14Fr	本	1	2 号
47		マギル鉗子	ステンレス	本	1	2 号
48		チューブ鉗子	ステンレス	本	2	2 号
49		舌鉗子	コラン氏式	本	6	2 号
50		開口器	エスマルヒ	個	3	2 号
51		バイトブロック	大	個	3	2 号
52		バイトブロック	小	個	3	2 号
53		カフポンプ	20ml	個	1	2 号
54		気管挿管用具	コッヘル鉗子	14.5cm 直 有鉤	本	2
55	ペアン鉗子		14.5cm 直 無鉤	本	2	3 号
56	消息子		18cm	本	2	3 号
57	ピンセット		18cm 有鉤	本	1 0	3 号
58	ピンセット		18cm 無鉤	本	1 0	3 号
59	ピンセット		23cm 無鉤	本	5 0	3 号
60	持針器		マッチュー 16cm	本	2	3 号
61	スカルペル		No. 10 柄付	本	5	3 号
62	スカルペル		No. 11 柄付	本	5	3 号
63	スカルペル		No. 20 柄付	本	5	3 号
64	外科剪刀		両鈍反 14.5cm	本	2	3 号
65	外科剪刀		片尖直 14.5cm	本	2	3 号
66	針付縫合糸		2-0	本	5	3 号
67	針付縫合糸		3-0	本	5	3 号
68	針付縫合糸		5-0	本	5	3 号
69	注射器		2.5ml 23G 針付	本	2 5	3 号
70	注射器		5ml 22G 針付	本	3 0	3 号
71	注射器		10ml 21G 針付	本	2 0	3 号
72	注射器		20ml 針なし	本	1 5	3 号
73	注射器		30ml 針なし	本	1 0	3 号

No.	区分	品名	規格/仕様	単位	数量	保管先	
74	外 科 用 具	注射針	21G	本	15	3号	
75		注射針	23G	本	15	3号	
76		駆血帯	25mm×450mm 25本入り	箱	2	3号	
77		シャーレ	ステンレス	枚	3	2号	
78		膿盆	ステンレス	枚	3	2号	
79		消毒パッド	ステンレス	枚	2	2号	
80		スキンステプラー	35針タイプ	個	50	8号	
81		リムーバー	スキンステプラー用	本	10	8号	
82		手術手袋	6.5サイズ	双	5	5号	
83		手術手袋	7.0サイズ	双	5	5号	
84		手術手袋	7.5サイズ	双	5	5号	
85		アイソレーションガウン	不織布	枚	10	5号	
86		ヘアキャップ	不織布	枚	10	5号	
87		カートリッジシリンジ	歯科用	本	5	3号	
88		注射針	歯科用 30G 21mm	本	10	3号	
89		ピンセット	歯科用	本	30	3号	
90		ミラー	歯科用	本	30	3号	
91		輸 液 用 具	輸液セット	自然落下式・ポンプ接続兼用	個	20	4号
92			輸液セット小児用	自然落下式・ポンプ接続兼用	個	6	4号
93			翼状針	18G	本	10	4号
94	翼状針		21G	本	10	4号	
95	翼状針		23G	本	10	4号	
96	静脈留置針		18G チューブ付き	本	30	4号	
97	静脈留置針		22G チューブ付き	本	10	4号	
98	静脈留置針		24G チューブ付き	本	10	4号	
99	カテラン針		23G	本	20	4号	
100	点滴用副子 (ユンカー)		3号	個	3	4号	
101	S字フック		輸液用	個	10	4号	
102	輸液ロープ		輸液用	本	1	4号	
103	調 剤 用 具	上皿てんびん	US160 村上自動上皿天秤	個	1	その他	
104		瓶立		個	1	その他	
105		薬匙	三ツ組 プラスチック製	個	1	その他	
106		薬匙	三ツ組 ステンレス製	個	1	その他	
107		軟膏ベラ	中 プラスチック製	本	3	その他	
108		軟膏ベラ	大	本	2	その他	
109		軟膏ベラ	小	本	2	その他	
110		軟膏板	240×240mm	枚	1	その他	

No.	区分	品名	規格/仕様	単位	数量	保管先
111	調剤用具	液量計	30ml ガラス製 円錐形	個	2	その他
112		液量計	100ml 円錐形	個	1	その他
113		液量計	100ml ガラス製 円錐形	個	2	その他
114		薬包紙	大型 500 枚入り	袋	2	その他
115		薬袋		枚	200	その他
116	眼科・耳鼻科用具	開瞼器		本	2	4号
117		点眼棒		本	3	4号
118		鼻鏡	ハルトマン	本	1	4号
119		耳鏡	大	本	1	4号
120		耳鏡	中	本	1	4号
121		耳鏡	小	本	1	4号
122		眼帯	ガーゼ付き	本	3	4号
123		洗眼瓶	100cc	個	3	4号
124		受水器	ステンレス	個	3	4号
125		額帯鏡	BC-ST	個	1	4号
126		噴霧器	BC-DX	式	1	4号
127		二連球	No. 6	個	1	4号
128	包帯材料用具	救急絆	S, M, L サイズ	箱	3	6号
129		サージンパッド	5×8cm	枚	30	6号
130		サージンパッド	8×13cm	枚	30	6号
131		サージンパッド	10×16cm	枚	30	6号
132		滅菌ガーゼ	30cm×30cm 4つ折り	枚	200	6号
133		綿棒	50 本入	袋	3	6号
134		清浄綿	25 包入	箱	5	6号
135		三角巾	105×105×150cm	枚	100	5号
136		耳付包帯	3 裂	本	10	7号
137		耳付包帯	4 裂	本	10	7号
138		耳付包帯	5 裂	本	10	7号
139		サージカルテープ	12.5mm×9.1m 24 巻入	箱	3	6号
140		サージカルテープ	50mm×9m 6 巻入	箱	3	6号
141		ネット包帯	手指用	個	7	6号
142		ネット包帯	頭部用	個	7	6号
143		弾性包帯	5cm×4.5m	個	20	7号
144		弾性包帯	7.5cm×4.5m	個	20	7号
145		弾性包帯	10cm×4.5m	個	20	7号
146		雑剪刀	ステンレス	本	5	6号
147		救急剪刀	万能バサミ (BC-2020ES)	本	1	6号

No.	区分	品名	規格/仕様	単位	数量	保管先
148		リングカッター	U・S・A	本	1	6号
149	止血用具	止血棒	救急用	本	10	7号
150		止血帯	マジックテープ	本	4	7号
151		傷票	白	枚	10	7号
152	骨折固定用具	アルミシーネ	アルフェンス 10号	枚	21	5号
153		板状副子	上肢用	枚	14	7号
154		針金副子	下肢用	枚	6	7号
155		エアシーネ	四肢用	枚	3	7号
156		ソフトシーネ	下肢用	枚	6	その他
157		ペンチ	副子用	個	1	7号
158	雑品・その他	今日の治療薬	2023年版	札	1	その他
159		不織布マスク	ふつうサイズ/個包装	枚	200	1号・その他
160		フェイスシールド		枚	10	その他
161		ポンチョ		枚	20	その他
162		手洗ブラシ	台付	個	1	8号
163		石けん	固形/薬用	個	1	8号
164		液体石けん	泡タイプ/550ml/薬用	個	1	収納ケースA
165		携帯用消毒器	煮沸	個	1	8号
166		固形燃料	中(ニチネン)	個	1	8号
167		麦粒鉗子	ステンレス	本	1	8号
168		水桶	折りたたみ	個	2	8号
169		フェイスタオル	白/30×76.5cm/120匁	枚	30	2号
170		防水シート	不織布製/裏面ラミネート/100×180cm	枚	20	1号
171		ペーパータオル	200枚入り	箱	2	収納ケースA
172		レスキューシート	救急アルミックシート	枚	7	2号
173		ランタン	キャンドル付き 折りたたみ	個	1	8号
174		ローソク	ライター付	個	7	8号
175		災害用カルテ	A4両面	枚	300	その他
176		災害用処方箋	A4片面	枚	300	その他
177		搬送者カード		枚	50	その他
178		トリアージタグ		枚	500	収納ケースB
179		ラップフィルム	ポリ塩化ビニリデン/30cm×50m	本	20	収納ケースA
180		ニトリル手袋	Sサイズ/白/粉なし	枚	500	その他
181		ニトリル手袋	Mサイズ/白/粉なし	枚	1500	その他
182		ニトリル手袋	Lサイズ/白/粉なし	枚	1000	その他
183		針捨てボックス	1L	個	3	4号
184		医療廃棄物ゴミ箱	段ボール	個	3	その他

No.	区分	品名	規格/仕様	単位	数量	保管先
185	雑品・その他	医療廃棄物ゴミ袋	40L	枚	10	収納ケースB
186		簡易ベッド		台	4	その他
187		松葉杖		組	4	その他
188		一人可搬担架	タフレンジャー	台	1	その他
189		クリップボード	A4 縦	枚	6	その他
190		文房具ケース	295×447×162mm	個	1	その他
191		ボールペン	黒/0.5mm	本	10	文房具ケース
192		サインペン	黒/細字	本	10	文房具ケース
193		サインペン	赤/細字	本	10	文房具ケース
194		セロハンテープ台		台	2	文房具ケース
195		セロハンテープ	個包装/幅15mm×50m/透明	個	2	文房具ケース
196		養生テープ	塗装・建築養生用/個包装/50mm×25m/透明	個	1	文房具ケース
197		メモ用紙	救急用	冊	10	文房具ケース
198		乾電池	アルカリ/単1形/シュリンク包装	個	12	文房具ケース
199		乾電池	アルカリ/単2形/シュリンク包装	個	14	文房具ケース
200		乾電池	アルカリ/単3形/シュリンク包装	個	40	文房具ケース
201		乾電池	アルカリ/単4形/シュリンク包装	個	6	文房具ケース
202		ボタン電池	アルカリ/LR41/個包装	個	4	文房具ケース
203		収納ケースA	360×530×370mm	個	1	その他
204		サーチライト	単一6個用	本	2	収納ケースA
205		懐中電灯	単二2個用	本	4	収納ケースA
206	懐中電灯	単三2個用 LED	本	1	収納ケースA	
207	ヘッドライト	単三3個用 LED	個	10	収納ケースA	
208	収納ケースB	440×635×325mm	個	1	その他	
209	ビブス	医師	枚	5	収納ケースB	
210	ビブス	歯科医師	枚	4	収納ケースB	
211	ビブス	薬剤師	枚	6	収納ケースB	
212	ビブス	柔道接骨師	枚	3	収納ケースB	
213	ビブス	看護師	枚	5	収納ケースB	
214	ビブス	保健師	枚	3	収納ケースB	
215	ビブス	事務員	枚	1	収納ケースB	
216	ビブス	区要員	枚	3	収納ケースB	
217	腕章	統括医	枚	1	収納ケースB	
218	腕章	班長	枚	1	収納ケースB	
219	腕章	リーダー	枚	3	収納ケースB	
220	各エリア表示	A3 ラミネート加工	枚	9	収納ケースB	
221	医療救護所看板		枚	1	その他	

No.	区分	品名	規格／仕様	単位	数量	保管先
222	雑品・その他	手指消毒ジェル	500ml	本	20	その他
223		点滴スタンド		本	20	その他
224		多色ボールペン（薬局用）	3色（黒、赤、青）/0.7mm	本	4	その他
225		透明テープ（薬局用）	OPPテープ/約5cm×50m 0.05mm厚	個	1	その他
226		輪ゴム（薬局用）	#16/100g	箱	1	その他

4 備蓄医薬品一覧 (医療救護所1か所あたり)

No.	区分	品名	規格/容量	流通 備蓄	単位	数量 (石東・秋の陽)
1	消毒液	5%ヒビテン液	500ml		本	2
2		消毒用エタノール	500ml		本	4
3		イソジンスクラブ液 7.5%	500ml		本	2
4		ウエルパス手消毒液 0.2%	500ml		本	1
5		次亜塩素酸ナトリウム	500ml		本	1
6	鎮痛・ 鎮静剤	ソセゴン注 15mg	1ml×10 管		管	20
7		ネオフィリン注 250mg	10ml×30 管		管	150
8		ボルタレンサポ 25mg	50 個/箱	○	個	150(250)
9		アンヒバ坐剤小児用 100mg	50 個/箱	○	個	300(450)
10		ロキソニン錠 60mg	100 錠/箱	○	錠	600(900)
11		カロナール錠 200mg	100 錠/箱	○	錠	1800(3000)
12		セルタッチパップ 70	7 枚×100 袋/段ボール箱	○	枚	700
13		ブスコパン錠 10mg	100 錠/箱	○	錠	100
14		デパス錠 0.5mg	100 錠/箱	○	錠	300(800)
15		レンドルミンD錠 0.25mg	100 錠/箱	○	錠	100
16	抗血小板剤 強心・利尿・	ソル・コーテフ注射用 100mg	5 バイアル/箱		瓶	10
17		ラシックス錠 20mg	100 錠/箱	○	錠	100
18		バイアスピリン錠 100mg	100 錠/袋	○	錠	100
19	麻酔剤 止血	キシロカイン注ポリアンプ 1%	10ml×10 管		管	10
20		キシロカインゼリー2%	30ml×2 本		本	2
21		歯科用キシロカインカートリッジ	1.8ml×50 管		管	50
22	血圧昇圧剤	ノルアドレナリン注 1mg	1ml×10 管/箱		管	20
23		プロタノールL注 0.2mg	1ml×10 管/箱		管	20
24		エホチール注 10mg	1ml×10 管/箱		管	20
25		ボスミン注 1mg	1ml×10 管/箱		管	20
26	補液剤	ブドウ糖注 5%PL「フソー」	500ml		本	4
27		ラクテック注	500ml×20 袋/段ボール		袋	20
28		生理食塩液「ヒカリ」	100ml×10 本/箱		本	100
29	抗菌剤	フロモックス錠 100mg	100 錠/箱	○	錠	100
30		セフジニル細粒小児用 10%	0.5g×120 包/箱	○	包	60
31		ゲンタシン軟膏 0.1%	10g×10 本/箱	○	本	20(30)
32		サワシリン錠 250	100 錠/箱		錠	100
33	官用剤 消化器	タケプロンOD錠 15	100 錠/箱	○	錠	100
34		ビオフェルミンR錠	100 錠/箱	○	錠	600
35		ナウゼリン錠 10	100 錠/箱	○	錠	600

No.	区分	品名	規格/容量	流通 備蓄	単位	数量 (石東・秋の陽)
36	官 用 剤	ラキソベロン内用液 0.75%	10ml×10 本/箱	○	本	10
37		グリセリン浣腸液「オヲタ」60	60ml×10 本/箱	○	本	10
38	官 用 剤	メプチン錠 50 μ g	100 錠/箱	○	錠	100
39		サルタノールインヘラー100 μ g	13.5ml×1 本/箱		本	3
40		シムビコート タービュヘイラー30吸入	30 吸入×1 キット/箱		キット	10
41	血 管 拡 張 剤	ノルバスク錠 2.5mg	100 錠/箱	○	錠	100
42		ニトロペン舌下錠 0.3mg	100 錠/箱	○	錠	30
43		フランドルテープ 40mg	50 枚/箱	○	枚	100
44	用 剤	クラビット点眼液 0.5%	5ml×5 本/箱	○	本	5
45		タリビット眼軟膏 0.3%	3.5g×10 本/箱	○	本	10
46	内 服 用 剤	PL配合顆粒	1g×100 包/箱	○	包	500(1000)
47		メジコン錠 15mg	100 錠/箱	○	錠	100
48		セレスタミン配合錠	100 錠/袋	○	錠	100(200)
49	外 用 剤	リンデロンVG軟膏 0.12%	5g×10 本/箱	○	本	10
50		白色ワセリン	500g		瓶	1
51		ソフラチュール貼付剤 10cm	10 枚/袋		枚	100
52	その他	滅菌精製水	500ml		瓶	10

5 医療救護所アクションカード

医療救護所アクションカード (1/6)			□ □ □ □ 中学校
医療救護所班長			副校長 [] 班長 [] 保健師 []
開設の目安は発災から72時間			副校長 [] 班長 [] 保健師 []
担当	活動場所	役割	
避難拠点班長 または任命を受けた者	医療救護所本部 (備蓄倉庫・臨時巡回)	施設における責任者	
<p>1. 大規模地震が発生！まずは、以下の事項を確認</p> <p>2. 四診会等の参集状況を確認。医療職の参集状況を統括医に確認（月 日 時 分現在）</p> <p>3. 医療救護所の設置を統括医とともに指示</p> <p>※ 看護師は、災害時に活動できるよう事前登録をし、登録カードを提示することになっている</p> <p>※ 様式を使用して、災害時に活動できるよう事前登録をし、登録カードを提示することになっている</p> <p>※ 様式を使用して、災害時に活動できるよう事前登録をし、登録カードを提示することになっている</p>			
必要物品	保管場所		
医療器具材、医薬品、各種様式、マニュアル、担架、松葉杖、酸素ボンベ・減圧弁等、ピルス、トリアージタグ、エリア別表示、調剤関係、マスク・ボンチ、簡易ベッド	医療救護所倉庫 (備蓄倉庫)		
長机	第2視聴覚室（3階北校舎）		
パイプ椅子	体育館ステージ下		
ホワイトボード、マーカー	保健室、プールサイド		
パーティション	保健室		
<p>4. 役割分担</p> <p>① 班長 ② 医療救護所本部 ③ トリアージ担当補助 ④ 重症者処置エリア担当補助</p> <p>⑤ 軽症者処置エリア担当補助 ⑥ 搬送担当 ⑦ 無線担当</p> <p>※ 医療職の配置については、統括医（医師のリーダー）が調整する</p>			
<p>5. 医療救護活動を統括医とともに管理</p> <p>□ 統括医と協議した上で医療救護所の開設を決定し、開設を宣言</p> <p>□ 医療救護所の開設について、班長に本部ならびに災害対策本部に報告</p> <p>□ 医療救護所本部で区委員にクロノロジーの作成とトリアージタグの回収を指示</p> <p>□ 医療救護所本部で傷病者の来所状況を把握</p> <p>□ 統括医と連携し、重症者の搬送等の調整を災害対策本部で行う</p> <p>□ 災害対策本部から得た情報を、医療救護所で共有</p> <p>□ 必要に応じて、黒工リアを立ち上げ、人員を配置</p> <p>□ 医療救護所の閉鎖について、統括医、災害対策本部ならびに災害対策本部と協議</p> <p>□ 医療救護所の閉鎖を宣言し、班長に本部および災害対策本部に報告</p>			
<p>6. 状況に応じて休戦を取る場合、班長代理に引き継ぎを行う</p> <p>□ 各職種の変替要員の把握およびリーダーの確認</p> <p>□ 傷病者の来所状況や各職種のリーダーを伝達</p> <p>□ 活動中の注意点や懸念点を伝達</p>			
<p>7. その他</p> <p>□ 不明瞭なことがあれば災害対策本部に指示を仰ぐこと</p>			

医療救護所アクションカード (2/6)			□ □ □ □ 中学校
統括医			副校長 [] 班長 [] 保健師 []
開設の目安は発災から72時間			副校長 [] 班長 [] 保健師 []
担当	活動場所	役割	
医師	医療救護所本部 (備蓄倉庫・臨時巡回)	医療救護活動における責任者	
<p>1. 大規模地震が発生！まずは、以下の事項を確認</p> <p>2. 四診会等の参集状況を確認。医療職の参集状況を、班長に報告（月 日 時 分現在）</p> <p>3. 医療救護所の設置を班長とともに指示</p> <p>□ 既に来所している傷病者に対して、処置を指示</p> <p>□ ピルスおよび除塵（リーダーのみ）の着用を指示</p> <p>□ 裏面の【各エリア配置図】を参考に、以下の物品の搬出と設置を指示</p>			
必要物品	保管場所		
医療器具材、医薬品、各種様式、マニュアル、担架、松葉杖、酸素ボンベ・減圧弁等、ピルス、トリアージタグ、エリア別表示、調剤関係、マスク・ボンチ、簡易ベッド	医療救護所倉庫 (備蓄倉庫)		
長机	第2視聴覚室（3階北校舎）		
パイプ椅子	体育館ステージ下		
ホワイトボード、マーカー	保健室、プールサイド		
パーティション	保健室		
<p>4. 役割分担</p> <p>① 統括医 ② トリアージ担当 ③ 重症者処置エリア担当 ④ 軽症者処置エリア担当</p> <p>※ 医師は①③④(2)、歯科医師は②④、薬剤師は②⑤(③④)、柔整師は②④、看護師は②③④に配置</p> <p>□ 各エリアのリーダーを指定</p> <p>□ アクションカードを各担当リーダーに渡す</p>			
<p>5. 医療救護活動を管理</p> <p>□ 医師の交番シフトの作成および各病舎リーダーへシフト作成を呼びかける（8時間/1名あたり）</p> <p>□ 各エリアの設置状況や患者動線を確認し、班長と協議の上、医療救護所の開設を決定</p> <p>□ 医療救護所本部で区委員にクロノロジーの作成とトリアージタグの回収を指示</p> <p>□ 医療救護所本部で傷病者の来所状況を把握</p> <p>□ 各病舎エリアを巡回し、傷病者の特色に合わせて人員を差配</p> <p>□ 例：重症者が複数来所した場合は、軽症者処置エリアから重症者処置エリアへ人員を再配置</p> <p>□ 医師の人員が不足している場合は、自ら診療にあたる</p> <p>□ 班長から得た情報を、医療救護所で共有</p> <p>□ 搬送が必要な傷病者が発生した場合、当該患者の状況とともに年齢や性別等の情報を災害対策本部へ伝達し、搬送先および搬送手段の調整を依頼（防災無線は校舎棟2階の職員室）</p> <p>□ 必要に応じて、黒工リアを立ち上げ、人員を配置</p>			
<p>6. シフトの統括医に引き継ぎを行う</p> <p>□ 各職種の交代要員の把握およびリーダーを確認</p> <p>□ 傷病者の来所状況や各職種のリーダーを伝達</p>			
<p>7. その他</p> <p>□ 不明瞭なことがあれば災害対策本部および災害医療コーディネーターに指示を仰ぐこと</p>			

医療救護所アクションカード (3/6)			□ □ □ □ 中学校
緑エリア（軽症処置）リーダー			副校長 [] 班長 [] 保健師 []
Mission：軽症者の応急手当			副校長 [] 班長 [] 保健師 []
担当	活動場所	役割	
軽症者処置エリア の医療職から1名	診察・柔整師施術 (1階普通教室)	調剤・投薬 (備蓄倉庫)	
<p>1. 統括医からアクションカードを受領。緑エリアの設置を指示</p> <p>□ 緑エリアリーダーの上司に統括医、部下は緑エリアの構成員とする</p> <p>□ 各病舎のリーダーは、各病舎委員のシフトの作成や各病舎との連絡調整を行うものとする</p> <p>□ 緑エリアリーダーとの兼務は可</p> <p>□ 裏面の【各エリア配置図】を参考に、以下の物品の搬出と設置を指示</p> <p>軽症者処置エリアは、次のブースを設置</p> <p>① トリアージ ② 診察 ③ 柔整師施術 ④ 調剤・投薬</p> <p>※ レイアウトについては、必要に応じて、また使い勝手によって変更可</p>			
必要物品	保管場所		
医療器具材、各種様式、マニュアル、松葉杖、ピルス、トリアージタグ、エリア別表示、マスク・ボンチ	医療救護所倉庫 (備蓄倉庫)		
長机	第2視聴覚室（3階北校舎）		
パイプ椅子	体育館ステージ下		
学習机・椅子	各教室		
<p>※ 教室内の学習机の使用が可能であるが、学校再開に影響のないよう配慮すること。</p>			
<p>2. 役割分担</p> <p>□ トリアージ、診察、柔整師施術、調剤・投薬それぞれの役割に人員を割り振る</p> <p>① 医師-診察 ② 歯科医師-トリアージ (診察)</p> <p>③ 薬剤師-調剤・投薬 (診察補助、トリアージ) ④ 柔整師-施術 (トリアージ)</p> <p>⑤ 看護師-診察補助 (トリアージ)</p> <p>□ トリアージ担当には、トリアージカード（緑エリア）を渡す</p>			
<p>3. 自らの役割を果たしつつ、緑エリアを管理</p> <p>□ 重症患者への対応が最優先。赤エリアで人員が不足した場合には、積極的に協力すること</p> <p>□ 緑エリアからの連絡を受け、適宜構成員に伝達</p> <p>□ 来所した傷病者は、トリアージを受け取る前に避難拠点運営連絡会（地域住民）が、歩行の可否により振り分ける。トリアージ担当は、トリアージを行うとともに患者情報や既往症等を聞き取り、タグを起票（氏名や住所等は、患者自身に記録させて構わない）</p> <p>□ 災害診療記録（カルテ）は必ず作成すること</p> <p>□ 軽症患者の容体が急変し、中等症以上になった場合などは、赤エリアへ患者を移送</p> <p>□ トリアージタグの枚目（災害現場用）はトリアージ後に回収し、トリアージタグ本体は処置完了後に回収する。医療救護所本部で集計するため、本部の区委員が回収しやすい場所にまとめる</p> <p>□ レイアウトや運営方法等については、必要に応じて変更可能。ただし、その際は、班長や統括医、副校長と調整の上、変更すること</p> <p>□ 感染症の流行している時期においては、誘導員を選任し、処置室が過度に密集しないよう入室を制限。また、定期的に換気を行う</p>			
<p>4. 状況に応じて休戦を取る場合、代理に引き継ぎを行う</p> <p>□ 各職種の交代要員を把握</p> <p>□ 活動中の注意点や懸念点を伝達</p>			
<p>5. その他</p> <p>□ 不明瞭なことがあれば災害対策本部より指示を仰ぐこと</p>			

医療救護所アクションカード (4/6)			□ □ □ □ 中学校
赤エリア（重・中等症処置）リーダー			副校長 [] 班長 [] 保健師 []
Mission：重・中等症者の応急処置・容体の安定化・搬送			副校長 [] 班長 [] 保健師 []
担当	活動場所	役割	
重症者処置エリア の医療職から1名	診察・柔整師 (保健室)	重症者処置エリアの指揮者	
<p>1. 統括医からアクションカードを受領。赤エリアの設置を指示</p> <p>□ 赤エリアリーダーの上司は統括医、部下は赤エリアの構成員とする</p> <p>□ 各病舎のリーダーは、各病舎委員のシフトの作成や各病舎との連絡調整を行うものとする</p> <p>□ 赤エリアリーダーとの兼務は可</p> <p>□ 裏面の【各エリア配置図】を参考に、以下の物品の搬出と設置を指示</p> <p>重症者処置エリアは、次のブースを設置</p> <p>① トリアージ ② 待機（経過観察）場所 ③ 応急処置</p> <p>※ レイアウトについては、必要に応じて、また使い勝手によって変更可</p>			
必要物品	保管場所		
医療器具材、医薬品、各種様式、マニュアル、担架、酸素ボンベ・減圧弁等、ピルス、トリアージタグ、エリア別表示、マスク・ボンチ、簡易ベッド	医療救護所倉庫 (備蓄倉庫)		
長机	第2視聴覚室（3階北校舎）		
パイプ椅子	体育館ステージ下		
ホワイトボード、マーカー	保健室、プールサイド		
<p>2. 役割分担</p> <p>□ 応急処置、医師補助、トリアージ、待機場所のそれぞれ役割に人員を割り振る</p> <p>① 医師-応急処置 ② 歯科医師-トリアージ (医師補助、待機場所)</p> <p>③ 薬剤師-トリアージ (医師補助) ④ 看護師-医師補助 (待機場所)</p> <p>□ トリアージ担当には、トリアージカード（赤エリア）を渡す</p>			
<p>3. 自らの役割を果たしつつ、赤エリアを管理</p> <p>□ 重症患者への対応が最優先。赤エリアで人員が不足した場合には、人員の差配を統括医に申し出る</p> <p>□ 来所した傷病者は、トリアージを受け取る前に、避難拠点運営連絡会（地域住民）が、歩行の可否により振り分ける。トリアージでは、患者情報や既往症等の聞き取りを行い、タグを起票する</p> <p>□ トリアージの報告を受け、応急手当および搬送の優先順位を決定</p> <p>□ 搬送が必要な傷病者の搬送調整依頼を統括医に行う。または依頼を指示する</p> <p>□ 近隣に災害拠点病院および災害拠点連携医療機関がある場合、担架で搬送する場合も考えられる</p> <p>□ 統括医からの連絡を受け、適宜構成員に伝達</p> <p>□ 災害診療記録（カルテ）は、必ず作成すること</p> <p>□ トリアージタグ1枚目（災害現場用）はトリアージ後に回収し、医療救護所本部で受付するため回収しやすい場所にまとめる。また、トリアージタグ本体は患者の装着したまま搬送されるため、代わりに搬送するカードを作成し、医療救護所本部へ手渡す</p> <p>□ 患者を搬送する際、トリアージタグは患者に装着したまま、搬送担当に引き継ぐ</p> <p>□ レイアウトや運営方法等については、必要に応じて変更可能。ただし、その際は、班長や統括医、副校長と調整の上、変更すること</p> <p>□ 感染症の流行している時期においては、誘導員を選任し、処置室が過度に密集しないよう入室を制限。また、定期的に換気を行う</p>			
<p>4. 状況に応じて休戦を取る場合、代理に引き継ぎを行う</p> <p>□ 各職種の交代要員を把握</p> <p>□ 活動中の注意点や懸念点を伝達</p> <p>□ 統括医に代理のリーダーを報告</p>			
<p>5. その他</p> <p>□ 不明瞭なことがあれば災害対策本部および災害医療コーディネーターに指示を仰ぐこと</p>			

医療救護所アクションカード (5/6) □ □ □ □ 中学校

傷病者振り分け

副校長 []
班長 []
保健師 []

Mission: 歩行の可否で傷病者をふるい分けする

担当	活動場所	役割
避難拠点運営連絡会 または区・学校委員	車昇降口	傷病者の振り分け

1. 班長からアクションカードを受領。傷病者振り分け場所の設置を行う

□ 裏面の「各エリア配置図」を参考に、以下の物品の搬出と設置を行う

必要物品	保管場所
担架、マスク、手袋、シーツ	医療救護所倉庫 (備蓄倉庫)
申いす	保健室
パイプ椅子	体育館ステージ下

2. 来所した傷病者を振り分ける

□ 歩行の可否により傷病者を2パターンに分け、案内・誘導する。
□ 自力歩行ができる方は、緑(軽症処置)エリアへ案内する。また、自力歩行ができない方については、赤(重症処置)エリアに移送する。
□ 学校の敷地内および学校近辺で歩行ができない傷病者の情報があった場合、医師や区の職員を伴い、担架を持って現地に赴く。近くに医療機関がある場合は、その医療機関に受入可否を確認し、受入ができない場合は、医療救護所へ搬送し、赤(重症処置)エリアに引き継ぐ。

3. 状況に応じて休憩を取る場合、代理に引き継ぎを行う

□ 活動中の注意点や懸念点を伝達する。

4. その他

□ 不明瞭なことがあれば班長や統括区、災害健康部に指示を仰ぐこと。

5. 担架について

□ 折りたたんで格納されている。説明書を参照し組み立てること。慣れれば数分で組み立てられる。
□ 使用する際は、上にシーツ等を掛けること。
□ 患者を一人で運べる担架ではあるが、安全性を考慮し、二人以上で使用する。
□ タイヤがついている方に足を乗せること。
□ 患者を乗せる際は、担架の中央に腰掛け、それから寝かせること。中央以外に腰掛けると、担架が傾き、落下する恐れがある。



医療救護所アクションカード (6/6) □ □ □ □ 中学校

医療救護所本部

副校長 []
班長 []
保健師 []

Mission: 傷病者の来所状況の把握、クロノロジー作成

担当	活動場所	役割
区、学校委員	医療救護所本部 (備蓄倉庫)	医療救護所本部機能

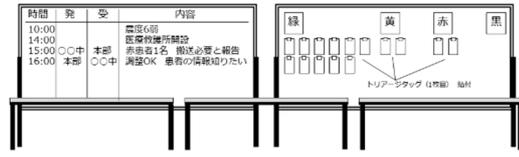
1. 班長からアクションカードを受領。医療救護所本部の設置を行う

□ 裏面の「各エリア配置図」を参考に、以下の物品の搬出と設置を行う
□ 下の図のように、以下の物品を配置する

必要物品	保管場所
マニュアル、ピズ、各種帳票、ボールペン、エリア別表示	医療救護所倉庫 (備蓄倉庫)
長机	第2視聴覚室 (3階北校舎)
パイプ椅子	体育館ステージ下
ホワイトボード、マーカー	保健室、プールサイド
パーテーション	保健室

2. クロノロジーの作成を開始

□ 出来事や情報を時系列に沿って、ホワイトボードに書き出す
□ 傷病者数や職員募集状況、地域の被災状況など情報は押さえておき、共有する



3. トリアージタグを回収し、傷病者の来所状況を把握

□ 緑エリアと赤エリアにトリアージタグの1枚目および本体(赤エリアは搬送者カード)を置くためのかごや箱を用意
□ 適宜、トリアージタグの1枚目および本体(赤エリアは搬送者カード)を回収
□ トリアージの際に、剥がし取られるトリアージタグの1枚目(災害現場用)の内容を傷病者受付一覧に転記し、傷病者の受付と把握をする。転記が終了したトリアージタグの1枚目は、ホワイトボード等に貼付
□ 手当てが完了した後、軽症者はトリアージタグ本体(または搬送者カード)と、それぞれ転記した傷病者受付一覧を照合し、一覧の消込みをする。それにより、傷病者の手当の状況を把握する
□ 消込みが完了したら、貼付されたトリアージタグの1枚目とトリアージタグ本体または搬送者カードをひとまとめにして保管する

4. 災害健康部から取得した医療機関情報を提示

□ 災害健康部から伝達された医療機関の被災状況や稼働状況を提示する
□ 患者が訪ねてきた場合、災害健康部の稼働状況を案内する。医療機関に連絡する際、携帯電話等の所持している通信手段が使用できない場合は、避難拠点の優先電話で代理通話をする

5. その他

□ 不明瞭なことがあれば災害健康部より指示を仰ぐこと

トリアージカード (緑エリア)

Mission: タグ起票、手当優先順位の設定、容体急変患者の赤エリア引き継ぎ

担当	活動場所	役割
歯科医師または薬剤師 (整容師、看護師)	軽症者処置エリア (1階普通教室)	トリアージ

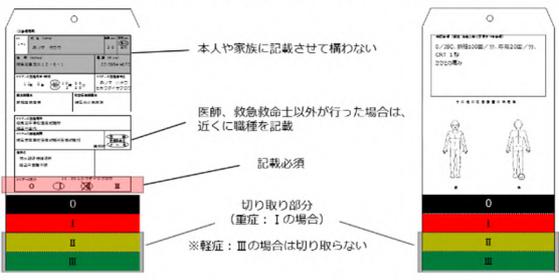
1. 緑(軽症処置)エリアリーダーからトリアージカードを受領

2. 来所した傷病者に対し、トリアージを行う

注1) 複数行記載できるように、各記入欄の上部で記載するなど配慮
注2) 誤記訂正は、二重線で行う
注3) 容体変化などで追記する場合は、二重線ではなく、同一欄の下側スペースに追記
□ 来場した傷病者を用意した椅子に座らせる
□ 2名ペアで順番にSTART法トリアージを行う(1名はトリアージ、1名はタグ記入)
① タグ1段目に傷病者の氏名(カタカナ)、年齢、性別を記入
※トリアージを受けていない傷病者には、自分でトリアージタグの氏名、年齢、性別、住所、電話番号を記入してもらって構わない
② トリアージ実施月日・時刻およびトリアージ実施者氏名を記入
③ トリアージ実施機関は「緑地区救護所」と記入。職種欄は、記載されている職種に○を付ける。記載がない場合は、その他に○をし、それに職種(歯科医師、薬剤師等)を記入
④ 医療施設情報(Ⅰ): 軽症 応急処置後、主に「災害拠点病院」に搬送
待機治療群(Ⅱ): 中等症 応急処置後、主に「災害拠点連携医療機関」に搬送
医療救護所で応急処置を行う
無呼吸群(Ⅲ): 医師が死亡診断した場合は、遺体安置所に搬送
⑤ 特記事項には、なぜ怪我をしたのか等その他得た情報についても記入
□ トリアージ終了後、複写の1枚目(災害現場用)を剥がし、回収かごに入れる
□ トリアージタグは、原則、患者の右手首につけること(衣服には着けない。装着箇所を損傷している場合には、右手首→左手首→右足首→左足首→首の順)
□ 医師の診察場所に案内
□ 次に待っている傷病者のトリアージを行う
※トリアージ後、重中等症者が含まれている場合、保健室に移送
※トリアージの結果、歯科医療を要する場合、歯科医師が診察ブースまで案内し、そのまま診察と応急手当を行う

3. その他

□ 不明瞭なことがあれば災害健康部および災害医療コーディネーターより指示を仰ぐこと



トリアージカード (赤エリア)

Mission: タグ起票、手当・搬送優先順位の設定

担当	活動場所	役割
歯科医師または薬剤師 (看護師)	重症者処置エリア (保健室)	トリアージ

1. 赤(重・中等症処置)エリアリーダーからトリアージカードを受領

2. 来所した傷病者に対し、トリアージを行う

注1) 複数行記載できるように、各記入欄の上部で記載するなど配慮
注2) 誤記訂正は、二重線で行う
注3) 容体変化などで追記する場合は、二重線ではなく、同一欄の下側スペースに追記
□ 移送された患者に対し、2名ペアで順番にSTART法トリアージ(裏面参照)を行う(1名はトリアージ、1名はタグ記入)
① タグ1段目に傷病者の氏名(カタカナ)、年齢、性別を記入
※患者本人、家族に氏名、年齢、性別、住所、電話番号を記入してもらって構わない
② トリアージ実施月日・時刻およびトリアージ実施者氏名を記入
③ 医療施設情報(Ⅰ): 重症 応急処置後、主に「災害拠点病院」に搬送
待機治療群(Ⅱ): 中等症 応急処置後、主に「災害拠点連携医療機関」に搬送
医療救護所で応急処置を行う
無呼吸群(Ⅲ): 医師が死亡診断した場合は、遺体安置所に搬送
④ トリアージ区分と同じモザイク部分を残して切り離す
⑤ 特記事項には、なぜ怪我をしたのか等その他得た情報についても記入
□ トリアージ終了後、複写の1枚目(災害現場用)を剥がし、回収かごに入れる
□ トリアージタグは、原則、患者の右手首につけること(衣服には着けない。装着箇所を損傷している場合には、右手首→左手首→右足首→左足首→首の順)
□ 患者を医師に引き渡す
□ 次に待っている傷病者のトリアージを行う
□ 状況に応じて、また可能であれば、2次トリアージ(PAT法)を行う
※トリアージ後、軽症者が含まれている場合、1階普通教室に誘導

3. その他

□ 不明瞭なことがあれば災害健康部および災害医療コーディネーターより指示を仰ぐこと

